

教 育 長 事 務 報 告

月 日	行 事 名	場 所
9月25日(水)	教育委員会定例会	鬼の館
	子どもの読書活動推進委員会	生涯学習センター
9月26日(木)	和賀西中学校学校訪問	和賀西中学校
9月27日(金)	市議会 第297回9月通常会議 最終日	市役所本庁舎
9月28日(土)	和賀地区小学校陸上競技大会	総合運動公園陸上競技場
	専修大学北上高等学校 校舎建替一体整備事業落成式及び祝賀会	専修大学北上高等学校、 ホテルシティプラザ北上
9月30日(月)	自由民主党要望調査	市役所本庁舎
10月1日(火)	コンコード出発式	北上駅
10月2日(水)	叙位伝達	市役所本庁舎
10月3日(木)	市史編さん委員会	市役所本庁舎
10月8日(火)	教育委員会と北上市校長会代表者との意見交換会	市役所本庁舎
10月9日(水)	小学校音楽会 表敬訪問	市役所本庁舎
10月10日(木)	南中学校学校公開	南中学校
10月11日(金)	西和賀町教育委員会授業実践交流会	沢内小学校
	市政座談会	更木地区交流センター
10月15日(火)	市議会 第298回10月臨時会議	市役所本庁舎
	市と社会福祉協議会との懇談会	ブランニュー北上
10月22日(火)	教育委員会定例会	市役所本庁舎

10月 教育長事務報告

【姉妹都市提携締結50周年「北上市友好訪問団」派遣】

米国カリフォルニア州コンコード市と北上市は、今年度姉妹都市提携締結50周年を迎えたことから、両市の友好親善をより一層深めることを目的として「友好訪問団」が10/1～10/8にコンコード市を訪問した。訪問団は、北上市長を団長とし、議長、国際交流協会代表理事のほか、37人で、そのうち23人が公募等の市民訪問団員で、小学生2人、中学生1人、高校生7人、中学校英語教員1人、高校英語教員1人が含まれている。

訪問先では、公式行事（晩さん会等）への参加、サンフランシスコ周辺の観光、ホームステイなどを通じ、異文化交流や、英語によるコミュニケーションに取り組んだ。今後の国際交流への参画が期待される。



【各種コンクール・大会・表彰関係】

- 令和6年度 第1回岩手県はばたき賞 奨励賞受賞 9月12日(木)
北上北中学校 1年 星 晟矢
(第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ大会 100メートル 第2位)
- 第91回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール中学校の部 10月14日(月)NHKホール
金賞(全国1位) 上野・飯豊・南・東陵・北上北・北上中合同 (ミューズコーラス隊)
- 同 小学校の部 10月13日(日)NHKホール
銅賞(全国3位) 黒沢尻北小学校合唱部 3年連続入賞

Nコン中学校の部の金賞受賞は、北上市から中学校初出場で最高賞を受賞したものであるが、91回を数えるコンクールの歴史上で初めて複数校の合同チームであったということも画期的な結果としてとらえられている。学校部活動ではなく、地域の合唱サークルとしての活動であり、練習日数・時間が限られていること、顧問がおらず、コンクール本番も指揮者なしで生徒のみの演奏だったことなどが、全国的に共感を呼ぶ結果となり、いまだに反響がある。今後の中学校部活動の地域移行という大きな流れと方向性が合致しており、運動部だけでなく文化部の活動への地域の参画に道を開くエポックメイキングな結果と見ている。

岩手日報
2024年(令和6年)10月16日(水曜日)

喜び重ね 輝く響き

「金賞は東北ブロック代表、6校合同参加の」。表彰式で名前が呼ばれると、東京・渋谷のNHKホールに歓声が満ちた。生徒は涙と笑いで顔をぐしゃぐしゃにした。

千田ことほさん(南3年)は「信じられない。これからも歌声でみんなを笑顔にしていきたい」と、充実感に満ちた声で語った。

課題曲は成長し、葛藤する若者の応援ソング。共感しながら、素直に明るく表現した。自由曲は「露宮のともじび」。兵隊に駆り出

みんなで歌える喜びは、日本一のハーモニーになった。第91回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部で14日、県勢初の最高位をつかんだ北上市の上野、飯豊、南、東陵、北上北、北上中の6校合同チーム。市内の中学校に合唱部がなく、受け皿となってきた音楽団体を母体に23人が結束した。「歌が好き」「純粹な心が会場を感動に包んだ」。

【本記一面】

Nコン中学校の部 北上6校合同チーム日本一



保護者らに感謝の言葉を述べる生徒たち=14日、北上市・JR北上駅前

地域団体母体に結末

された青年に迫る死、恋人い。ステージ上で、生徒たへの思いを歌い上げた。ちはアイコンタクトで呼吸習に全員がそろふのは難しく、場所の確保や送迎にも苦勞するが、地域は旅費を支援するなど若者を後押し

してきた。同隊事務局の千田優子副会長(47)は「親も子も手探りでやってきた。喜びを分かち合いたい」と万感の思いだ。

生徒は14日午後11時過ぎ、JR北上駅に「凱旋」。保護者に拍手で迎えられると、疲れた顔に再び、晴れやかな笑みがあふれた。全国的な強豪・黒沢尻北小の中野美由紀指導教諭も指導に携わり「ライトに照らされる生徒たちの顔が達成感と自信にあふれていて頼もしかった」とたなえる。

斎藤伸さん(上野3年)は「中学で合唱ができないと思っていたけれど、親や周りの人のおかげで続けられた。(後輩には)心を一つにして、来年も金賞を目指してほしい」とバトンを託す。